

ぎかいだより



第3回議場コンサート



令和元年 第4回定例会

11月28日～12月12日



第4回定例会

災害対応予算の専決処分を承認	……P 2
令和元年度補正予算	……P 3
審議結果一覧	……P 5
常任委員会審査報告	……P 6
一般質問	……P 8
議場コンサート	……P14
行政視察調査報告	……P15

令和2年2月15日発行


発行：栃木県下野市議会

編集：議会だより編集委員会

ホームページ：<http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

E-mail：gikai@city.shimotsuke.lg.jp

しもつけ市議会だよりは市ホームページでもご覧いただけます

下野市 市議会 



令和元年第4回定例会は、11月28日から12月12日までの15日間の会期で開催されました。

市長提案（追加議案含む）により、承認1件、令和元年度補正予算6件、条例の制定等11件の計18件が提出されました。

今回、常任委員会合同で、台風19号の被災箇所を現地調査し、応急対策及び今後の対応について確認を行いました。

一般質問では、10人の議員が質問を行い、市の対応や考え方を伺いただきました。

台風19号被害に対する補正予算の専決処分を承認

一般会計は、歳入・歳出それぞれ5億7,700万円を追加し、予算総額を287億6,558万7,000円としました。

内訳としては、消防費3,583万5,000円、教育費1,540万4,000円、災害復旧費5億2,578万円（公共土木施設災害復旧費、公園施設災害復旧費、農業災害復旧費、小中学校施設災害復旧費他）予備費△1万9,000円。以上の専決処分となりました。

※専決処分…本来は議会の議決・決定を経なければならない事柄について、緊急を要する場合など、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて議会の議決・決定の前に自ら処理すること。

令和元年度一般会計補正予算(第5号)

(単位：千円)

	補正額	補正後の予算額
補正予算(第5号)	5億7,700万	287億6,558万7

【主な予算項目】

- ・ 消防自動車修繕料 679万6千円
- ・ 一般廃棄物収集運搬委託料 1,663万2千円
- ・ 浸水家屋災害廃棄物収集運搬委託料 284万3千円
- ・ 公共土木施設災害復旧費 1億1,899万1千円
- ・ 公園施設災害復旧費 2,246万2千円
- ・ きらら館災害復旧工事 3,013万7千円
- ・ 農地・農業用施設災害復旧工事 1億6,405万6千円
- ・ 石橋中 災害復旧工事 1億3,970万円

常任委員会合同での被害調査を行いました

各常任委員会での審査に先立ち、議員全員で台風19号において被災した施設や農地等の現地調査を行い、市執行部に対し、1日も早い復旧を求めました。



田川(五千石球場付近)



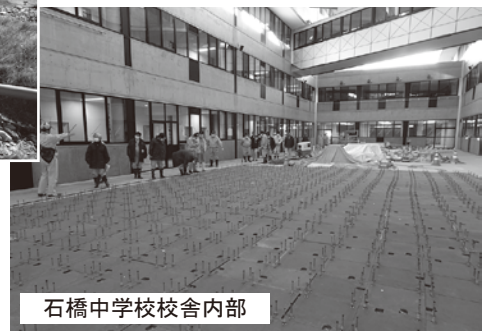
石橋中学校南東の農業施設



新川(姿川の越水により決壊した箇所)



長田橋東側の農地



石橋中学校校舎内部

各会計補正予算

令和元年度一般会計補正予算

自治医大駅広場シェルター建築設計などを予算計上

一般会計は、歳入・歳出それぞれ1億4,748万円を追加し、予算総額を289億1,306万7,000円としました。

歳出の主なものとしては、南河内中学校区義務教育学校整備事業に関して、受水槽やキュービクル（高圧受電設備）等の外部切り回し工事1億964万8,000円。市道大規模修繕事業として、市道1-12号線舗装修繕工事4,120万6,000円。保育園事業として、第3子以降保育料免除、一時預かり保育事業（一般型・幼稚園型）等で1,272万8,000円。自治医大駅周辺整備事業として、駅広場シェルター（乗降時の雨よけ）建築設計委託料726万円。高齢者福祉費として、声かけふれあい収集事業の対象者増加に伴う増額11万1,000円などを計上しました。

令和元年度各会計補正予算

(単位：千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の予算額	
一般会計 第6号	1億4,748万0	289億1,306万7	
特別会計	国民健康保険(第2号)	867万1	55億7,353万6
	後期高齢者医療(第2号)	198万3	6億5,432万5
	介護保険(第2号)	1,598万8	44億8,417万4
	仁良川地区土地区画整理事業(第2号)	1,000万0	5億3,988万7

令和元年度下水道事業会計補正予算(第2号)

(単位：千円)

区 分	補 正 額	補正後の予算額	
資本的収支	収 入	△6,229万0	10億2,788万5
	支 出	△6,229万0	13億5,474万5

条例その他

第4回定例会で議決した条例や契約等についてお知らせします。

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

これまで、死亡または身体的に障がいを受けた場合に償還(返済)することが出来ないと認められた場合の償還免除規定はありました。

今回の改正により、破産手続き及び再生手続きの開始の決定を受けた場合に償還免除になるという規定が追加されました。

工事請負契約の締結
(南河内中学校防災調整池)

大雨時の対策等による南河内中学校防災調整池設置工事の実施のため、工事請負契約が締結されました。

工事名：南河内中学校防災調整池設置工事(分割1号)
 契約の方法：事後審査型条件付き一般競争入札
 契約金額：1億8,126万9,000円
 契約の相手方：吉栄工業株式会社

工事請負契約の締結
(しもつけ風土記の丘資料館)

入館者増による風土記の丘資料館増築工事の実施のため、工事請負契約が締結されました。

工事名：しもつけ風土記の丘資料館増築工事(建築)
 契約の方法：事後審査型条件付き一般競争入札
 契約金額：2億3,980万円
 契約の相手方：株式会社小林工業



しもつけ風土記の丘資料館

指定管理者の指定

自転車駐車場

自転車の放置を防止するとともに、利用者等の利便に供するための施設である自転車駐車場について、設置目的を効果的に達成するため、引き続き、公益社団法人シルバー人材センターを指定管理者として指定しました。

【市内の自転車駐車場（3カ所）】

- ・石橋駅自転車駐車場
- ・小金井駅東自転車駐車場
- ・自治医大駅東自転車駐車場

指定期間

令和2年4月1日～令和5年3月31日（3年間）



自治医大駅東自転車駐車場

石橋地区都市農村交流施設 （ゆうがおパーク）

農作物の6次産業化や直売による地域農業の活性化、都市と農村の交流や地産地消を推進するという設置目的を効果的に達成するため、引き続き、企業組合すがたがわを指定管理者として指定しました。

指定期間

令和2年4月1日～令和5年3月31日（3年間）



ゆうがおパーク

総括質疑

市長から提案された議案等について、疑問点等を問います。

専決処分の承認（令和元年度一般会計補正予算 （第5号））の歳入について

問 台風19号の復旧費用は全て財政調整基金から出ている。国などからの補助対象になるのは、どの程度か。

答 現在、県に申請して、県での協議、審査中である。金額は未確定な段階だが、激甚災害に指定されたので国税措置がしっかりされると考える。

工事請負契約の締結 （南河内中学校防災調整池設置工事（分割1号））

問 南河内地区の義務教育学校の防災調整池設置工事（防災調整池）の防災機能は何か。

答 雨が降った時に学校周辺の水路等があふれないように、放流量を調整する機能を持つ。

市民の皆さんの市政についての意見や要望を、 「請願」や「陳情」として市議会に提出することができます

請願は、下野市の市議会議員の紹介（1名以上）が必要ですが、陳情には必要ありません。どちらも書面で提出していただきます。

定例会開会日の14日前までに、議会事務局まで直接お持ちください。

詳しいことは、議会事務局（電話：32-8914 またはメール：gikai@city.shimotsuke.lg.jp）までご連絡ください。市のホームページもご参照ください（「下野市 請願」で検索）。

第4回定例会の審議結果

議案等番号	付議事件	結果	坂村哲也	伊藤陽一	五戸豊弘	貝木幸男	石川信夫	相澤康男	奥田勉	中村節子	大島昌弘	高橋芳市	石田陽一	小谷野晴夫	秋山幸男	磯辺香代	松本賢一	岡本鉄男	村尾光子
承認4号	専決処分の承認(令和元年度下野市一般会計補正予算(第5号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案44号	令和元年度下野市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案45号	令和元年度下野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案46号	令和元年度下野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案47号	令和元年度下野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案48号	令和元年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案49号	令和元年度下野市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案50号	会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案51号	下野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案52号	下野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案53号	工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案54号	下野市自転車駐車場における指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案55号	石橋地区都市農村交流施設における指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案56号	栃木県市町村総合事務組合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
【追】議案57号	下野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
【追】議案58号	下野市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
【追】議案59号	下野市職員の給与に関する条例及び下野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
【追】議案60号	工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

【追】…追加議案

○…賛成 ●…反対 (議長は表決に加わらない)

審議結果

第4回定例会 会期日程

- 11月28日 本会議【開会】
(提案理由説明、一部表決、議案の説明)
- 29日 本会議(一般質問)
- 12月2日 本会議(一般質問)
- 3日 本会議(議案の質疑、委員会付託)
- 4日 教育福祉常任委員会(付託案件審査)
- 5日 経済建設常任委員会(付託案件審査)

- 12月6日 総務常任委員会(付託案件審査)
- 12日 本会議【閉会】
(委員長報告、質疑、表決、委員会行政視察調査報告)

※今定例会の傍聴者数 42名(延べ)

常任委員会 査報

常審 査報 会告

定例会で委員会付託された議案等について、各常任委員会の審査状況を報告いたします。

総務

総務費国庫補助金 (元年度一般会計補正予算)

問 本市の個人番号カードの普及率の低さの原因と促進に向けた今後の取り組みを伺う。

答 本市は、早くから住民基本台帳カードの普及に取り組んできたため、住基カードの所有者が多いことが個人番号カードの普及が進まない原因と考えられる。令和2年1月から、第2日曜日の午前中に窓口を開けて、個人番号カード普及に取り組んでいく。

総務

消費者行政事業 (元年度一般会計補正予算)

問 特殊詐欺撃退器設置に対する補助率を伺う。

答 補助率は4分の3で上限1万円を考えている。今までは、1年間の期限で貸し出しのみを行っていたが、順番待ちの状況であり、引き続き使いたいという要望や、購入したいという要望も多いことから、補助制度を設けた。

総務

会計年度任用職員制度の導入に伴う 関係条例の整備に関する条例の制定

問 自治会長が非常勤特別職でなくなるが、自治会運営はどのようになるのか伺う。

答 現在の自治会長の設置規則を残し、従来通り支援等を行っていく。

問 自治会長報酬の根拠はどうなるのか伺う。

答 設置規則の中に明記していく。

問 令和2年4月から会計年度任用職員となる予定の方の人数を伺う。

答 350名前後になると考えている。

総務

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 専門委員の医師と史跡保存整備関係以外の方の報酬が5,000円減の13,000円となるがその理由を伺う。

答 県や周辺市にならい見直しを行った。史跡保存整備関係の専門委員は、より専門的指導が必要となるため、現行のままとした。

問 専門委員はいくつの会議に何人いるのか伺う。

答 28の会議で39名いる。弁護士、大学教授、准教授といった学識経験者である。

経済建設

石橋多目的広場整備事業 (元年度一般会計補正予算)

問 土地購入費が計上されているが、その内容を伺う。

答 石橋庁舎跡地の一部が私有地であり、その私有地部分423.96㎡(2筆、宅地)を1㎡あたり4万7,900円で購入した。

経済建設

市道大規模修繕事業 (元年度一般会計補正予算)

問 市道1-12号線の舗装修繕箇所と全体の計画を伺う。

答 施工箇所は柴地区になり、延長約860mの施工となる。全体計画は、新4号国道から栃木二宮線となり、令和4年度までに全線の修繕を計画的に実施する。

経済建設

市道2-10号線整備事業
(元年度一般会計補正予算)

問 細谷小学校脇の通学路である2-10号線の整備完了見込みを伺う。

答 現在、路盤工事を実施しており、舗装工事も発注済みであるが、今年度は未完了の予定である。

経済建設

下水道事業会計補正予算

問 台風19号被災による国道352号線と流域下水道関連の汚水処理水のマンホール改修は県費になるのか。

答 国道352号線の管路は市の管理のため市下水道事業の緊急対応予算で、流域下水道は県の管理であるため県で修繕を行った。

教育福祉

教育費国庫補助金
(元年度一般会計補正予算)

問 下野国分尼寺跡保存整備費、しもつけ風土記の丘資料館整備費の補助金の減額理由を伺う。

答 額の確定にあたり内容が精査され、補助対象外になる部分があり減額となった。

教育福祉

在宅福祉事業
(元年度一般会計補正予算)

問 声かけふれあい収集事業について増額理由を伺う。

答 当初7名であった対象者が11名まで増えた。シルバー人材センターへ収集を委託しているが、人数増加による時間延長のため増額する。



教育福祉

保育園事業
(元年度一般会計補正予算)

問 事故防止推進事業費補助金について、補助の内容を伺う。

答 乳児用のアラームが鳴るチェックセンサーの補助で、昼寝でうつ伏せになった時に危険を知らせてくれるものであり、薬師寺幼稚園、第二薬師寺幼稚園からの要望により補助する。

教育福祉

石橋複合施設整備事業
(元年度一般会計補正予算)

問 中学生議会で「中学生の居場所を作ってほしい」との提案があった。取り入れられているのか。

答 子どもたちが気軽に学習できる学習室を設ける予定である。1人でもグループでも学習できる空間と、飲食やおしゃべりができるロビーなどの空間を想定している。

教育福祉

認定調査費等
(元年度介護保険特別会計補正予算)

問 介護認定調査員を1名増やすための補正だが、本市の介護認定審査会の開催頻度と認定までの期間を伺う。

答 認定審査会は週2回開催し、申請から認定までは約36日かかる。審査会では、1回平均22～23件の審査をしている。



常任委員会での採決のようす

一般質問は市ホームページで動画を公開しています。

市政を問う

一般質問

第4回定例会では、10名の議員が市政に対し質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。

一般質問



大島昌弘 議員

【今回の質問】

1. 台風19号による被害対応及び今後の対策
2. 水害に対する公共施設の防災対策
3. 雪害対策

問1-1 避難所開設状況及び今後の計画は。

答1-1 市長 台風19号に際し、南河内公民館等8カ所の避難所を開設。最大時640名の方が避難し、おかゆ493食、飲料水968本、毛布438枚を配布。環境省の災害時におけるペットの救護対策ガイドラインでは、避難する際は飼い主はペットと一緒に同行避難を原則としていることにより、今後検討していく。

問1-2 堤防の危険箇所と対策。

答1-2 市長 堤防がえぐられた危険箇所については、栃木土木事務所が応急工事として、大型土のうやブルーシート設置等により対応した。被災箇所は、姿川ではゆうがパーク脇右岸側1カ所、田川では五千石球場脇右岸1カ所、境橋下流左岸1カ所、蛇続橋下流左岸1カ所、新川で1カ所となっている。

問2 水害に対する公共施設の防災対策は。

答2 市長 施設の浸水対策として石橋中学校では、外構工事にあわせて校舎や敷地への水の浸入を防ぐ止水壁や擁壁の設置など検討していく。きらら館においては非常用発電機等をかさ上げ設置し、床改修は塩化ビニールシートで対応する。下水道施設においては制御盤のかさ上げ工事により浸水対策する。



田川（境橋）



石川 信夫 議員

【今回の質問】

1. 県南広域的な水道整備事業（水問題）について

問 1 現在、市の水道水は地下水100%であるが、市長は鹿沼市で建設中の南摩ダムの水を引き混合水として飲む考えで検討をしている。反対派の方々も運動を起こされ署名活動もされているが、市民の皆様には周知が行き届いていないと思われる。今回、私も75名の方にお尋ねしたところ、知っていると答えた方は15名であった。そのうち、広報を見て知ったという方は、わずか1名であった。市民の皆様にとって大切な問題である。徹底した周知をお願いしたい。

答 1 市長 市民の皆様への周知が十分でないとのこと指摘について、引き続きご理解が得られるよう努めてまいりたいと考えている。飲み水について、地下水のみに依存することに不安を抱いている。水を手に入れるためのいろいろな方法が必要であると考えている。

総合政策部長 平成30年2月号の広報紙に「思川開発事業と下野市のかかわり」と題し一度掲載をしている。また、今年10月の市長のいきいきタウントークでの、この問題に関するご意見と、市長の回答については、広報1月号に掲載し、周知をするということによって現在進めている。



南摩ダム完成予想図
水資源機構思川開発研究所



中村 節子 議員

【今回の質問】

1. 学童保育の課題
2. ファミリー・サポート・センター事業(※) 提供会員増のために

問1-1 学童保育支援員と補助員が常時不足している。待遇の改善を考えているか。

答1-1 市長 令和2年度から会計年度任用職員制度が導入され、給与面では改善できる。

問1-2 長期休業中の支援員などの休憩時間が確保できていない場合があると聞く。実態把握できているか。

答1-2 健康福祉部長 支援員へのヒヤリングなどにより調査を行うことも考える。

問1-3 学童保育中の急病などに使える静養室は全ての学童にあるのか。

答1-3 市長 静養室がある学童もあるが、保健室や使用している教室の一角を区切り居場所を確保している場合もある。

問2-1 ファミリー・サポート・センター事業は、依頼会員(約

300人)に対して提供会員(約70人)が少なく、人のやりくりが大変と聞く。提供会員を増やすため、市はどのようにPRしているか。

答2-1 市長 パンフレット、市の広報、ホームページを活用している。

問2-2 パンフレットが提供会員を増やすための内容になっていない。内容の見直しが必要だ。また「年輪のつどい」などのイベントに出向き、提供会員になるメリットを直接伝えてほしい。

答2-2 健康福祉部長 PRに積極的に努める。

※ファミリー・サポート・センター事業…子育ての援助を受けたい依頼会員と援助を行いたい提供会員(有償ボランティア)により子育てを支え合う会員組織



高橋 芳市 議員

【今回の質問】

1. 市道の歩道部分の安全対策について

修繕が必要な箇所は市内にどれくらいあり整備計画は

問1-1 下野小金井郵便局から友愛館までの市道2-29号線の両脇の歩道は地盤の凹凸が激しい。子供たちや高齢者の安全を考えて地元自治会から要望書が出されているが、整備計画はあるのか。

答1-1 市長 今後、国庫補助事業として整備採択に向けた準備を進めていきたい。本路線は都市計画決定された道路であり、道路幅員を変えることなく、車道と歩道、路肩の幅員の構成を再編することも視野に入れ整備を進めたい。

問1-2 何年計画で整備するのか。

答1-2 建設水道部長 今年度、社会資本総合整備計画という計画の中に盛り込み、来年度調整し、令和3年度から設計等を行い、令和4年度以降の工事になる。

問1-3 2-29号線のような修繕が必要な箇所は市内にどれくら

いあり、その整備計画は。

答1-3 市長 幅員12メートル以下で街路樹が植えられている市道は6路線、2-29号線と同じケースはない。景観保全の観点から保存が求められ、街路樹の必要性や整備、維持管理のあり方を再検討するため、昨年度、街路樹の整備及び維持管理方針を策定した。保安全管理や歩道の安全確保に努めたい。



歩道の危険箇所



伊藤 陽一 議員

【今回の質問】

1. 広報しもつけの情報発信(子育て支援)について
2. 新しい情報伝達手段としてLINE(ライン)の利用は

問1 広報しもつけは、2万3,958世帯のうち、自治会配布が1万5,447世帯、64.5%。未配布の集合住宅は、20~30代の若い夫婦が多い。広報しもつけ11月号では、子育て関連記事は12ページ、37項目あった。これを踏まえ、どれくらいの市民に伝わり、満足感を得ているのか。未配布世帯に対する対応は。

答1 市長 配布の周知に努め、紙以外では市のHPやツイッター、インフォメーションメールで配信。また、コミュニティFMゆうがおで配信予定(現在は配信中)。

問2-1 新しい情報伝達として、国内ユーザー約8,000万人以上を持つLINEを導入する考えがあるか。

答2-1 市長 目的に応じた情報伝達手段として各自治体の導入事例を参考に今後研究していく。

問2-2 広報しもつけが届かない子育て世帯に対しての情報発信を研究してもらえるか。

答2-2 健康福祉部長 子育て支援だけでなく各課連携し研究していきたい。



市民への大きな情報伝達手段
広報しもつけ



貝木 幸男 議員

【今回の質問】

1. 台風19号により発生した水害等の今後の防災対策は

問1-1 石橋地区姿橋左岸の住宅は4年前の関東・東北豪雨でも床上浸水となった。今後どのような防災対策を考えているのか。

答1-1 市長 姿川の越水対策については、管理者である栃木県に対して引き続き要望を続けていく。内水氾濫の場所等は県と排水対策を協議すると共に、関係部署や関係機関においても協議し対策を検討していきたい。

問1-2 今回警戒レベル4の避難指示が発令され、市内8カ所の避難所に640名の方が避難した。一部の避難所では毛布等の配布が遅れたという話もあった。備蓄倉庫を指定避難所に設置できないか。倉庫から運搬する作業が省け、道路が通行できない時も迅速に配布することができると思うが。

答1-2 市長 今回の災害の経験を十分に生かし、避難所への

迅速な備蓄品の運搬体制を構築していきたい。優先順位の高い避難所から順次対処していきたい。



指定避難所になっている石橋体育センター（上）、南河内公民館（下）



坂村 哲也 議員

【今回の質問】

1. 就職氷河期世代支援について
2. 災害に強く、安全安心に暮らせるまちづくり

問1-1 就職氷河期世代支援プログラムの今後の推進について伺う。

答1-1 市長 きめ細かな就職相談体制を整え、関係機関と広域的な連携を密にしながら積極的に取り組んでいく。

問1-2 中高年のひきこもり対策について考えを伺う。

答1-2 市長 現行の支援策に加え、より丁寧な寄り添い支援に取り組んでいく。

問2-1 国土強靱化地域計画の策定について考えを伺う。

答2-1 市長 大規模災害に備え、市民の命を守るための対策が何よりも重要である。想定外の事態を想定した対策が必要であり、具体的な取り組みや事業をまとめた国土強靱化地域計画の策定を進める。

問2-2 無電柱化の推進についての考えを伺う。

答2-2 市長 防災、バリアフリー、景観形成などの観点を踏まえ、推進のための計画策定に努めていく。

問2-3 大停電時の対応を伺う。

答2-3 市長 電力会社と連携し、原因や復旧見込み等の情報収集・周知に当たり、警察や消防とも連携し、市内の安全確保等の状況把握に努める。

問2-4 災害時の動物の救援策について伺う。

答2-4 市長 栃木県や関係団体と協議しながら他市の事例も参考にし、研究していく。

無電柱化率：ロンドン、パリは100%、東京都は約5%、栃木県は約1%



五戸 豊弘 議員

【今回の質問】

1. 台風19号の被害と対応について

問1-1 被災による半壊や一部損壊等の判断基準はどのようになっているのか伺う。

答1-1 市長 国が示した災害の被害認定基準、災害に係る住家の被害認定基準、運用指針に基づき、市町村が被害の程度を確認している。内閣府では、10月14日付で通知を発し暫定的に運用指針等の一部が変更されている。本市では、大規模半壊4件、半壊4件、床下浸水被害を受けて一部損壊(10%未満)が21件となっている。

問1-2 床上浸水で住むことができない場合の下野市独自の支援制度はあるのか伺う。

答1-2 市民生活部長 支給条例第6条に基づき、見舞金の額は、床上浸水した時には2万円となる。

市長 相談があれば、今後検討していく。

問1-3 被災した農機具の購入、修理の支援について伺う。

答1-3 産業振興部長 農家から市に相談があったという報告は聞いていない。



箕輪古城公園付近



磯辺 香代 議員

【今回の質問】

1. 既存公共施設のバリアフリー化

※ユニバーサルデザイン…「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障がいの有無、性別等にかかわらず、最初からできるだけ多くの人利用可能であるようにデザインすること

問1-1 市民の社会的活動を保障するために公共施設のバリアフリー化は重要だと思う。今後も使用予定の既存公共施設で、多くの市民の使用が想定されるものについて、バリアフリーになっているとは言い難いものがある。「公共施設等総合管理計画」には、この点について明記されていない。考えを伺う。

答1-1 市長 本市の公共施設の多くが建築から25年以上が経過し、必要に応じて整備はしているが、満足いただけるものではないと認識している。平成29年3月に策定した「公共施設等総合管理計画」は平成26年4月の総務省通知に基づいているが、当時の指針は、バリアフリー化の問題に触れていなかった。平成30年2月の総務省通知では、ユニバーサルデザイン(※)2020行動計画の考え方を踏まえ、計画的な改修等によりユニバーサルデザイン化の推進を図るこ

とが示された。「公共施設等総合管理計画」の中に速やかに盛り込み、今後の公共施設の大規模改修、更新や用途の変更にあたっては、多様な方々が利用しやすいよう、状況によりユニバーサルデザインに配慮した整備を進めて参りたい。

問1-2 整備に対する国の支援制度は。

答1-2 総合政策部長 公共施設等適正管理推進事業債がある。



市内の公共施設



村尾光子 議員

【今回の質問】

1. 防災・災害対策について
2. 介護保険事業の低所得者層保険料軽減策等について

- 問 1** ①台風19号への対応では避難行動要支援者対応マニュアルは機能したのか。
- ②地域防災計画の見直しが必要ではないか。
- ③洪水ハザードマップをより見やすく、分かりやすく改訂できないか。
- ④円滑な避難所開設・運営のため訓練を実施されたい。地区防災計画策定の取組方針を伺う。
- ⑤防災井戸登録制度の導入を求める。

答 1 市長 ①今回の災害では民生児童委員にマニュアルに基づく対応を依頼した。電話による安否確認の難しさ、避難所への同行依頼に答えられない場合等の課題もあった。支援体制のさらなる拡充に努める。

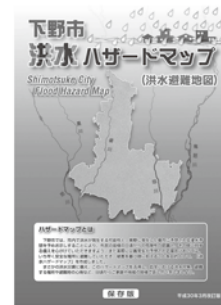
②市地域防災計画は平成28年3月に改訂した。それ以降、関係法令改正や記載事項更新の必要が生じていること、台風19号による被害状況の検

証から全般的な見直しが必要である。令和2年度中の改訂に向けて進めたい。

③洪水ハザードマップは次期改訂時に、他自治体の事例を参考に地図表示や文字の大きさ、掲載情報内容などを見直す。

④総合防災訓練時に避難所開設・運営訓練を実施する。地区防災計画策定は河川流域からモデル地区を選定して進める。

⑤防災井戸登録制度は先進事例を参考に検討する。



H30年4月に全戸配付された「下野市洪水ハザードマップ（洪水避難地図）」（保存版）の表紙

議 会 の 動 き

11月

- 11日 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会
- 12日 都市計画に関する勉強会
- 14日 第166回社会文教委員会(全国市議会議長会)
- 15日 経済建設常任委員会
- 18日 教育福祉常任委員会
- 19日 総務常任委員会
- 21日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 22日 議会だより編集委員会
- 28日 第3回議場コンサート
- 28日～12月12日 第4回定例会

12月

- 6日 国民健康保険税に関する勉強会
- 10日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 12日 議会だより編集委員会
- 13日 かんぴょうに関する意見交換会

- 17日 議会活性化特別委員会
- 19日 石橋地区消防組合議会定例会
- 26日 議会だより編集委員会

1月

- 8日 福井県大野市議会行政視察来庁
～上水道事業の経営について～
- 9日 議員研修会「防災(そなエリア東京)、地産地消及び6次産業化について」
- 10日 県央6市議会議長会議
- 16日 教育福祉常任委員会・薬師寺保育園保護者との懇談会「子育て支援の取り組みについて～民営化されて思うこと～」
- 20日 議会だより編集委員会
- 27日～28日 総務常任委員会行政視察
(静岡県島田市・三島市)
- 29日 議会だより編集委員会
- 31日 議会活性化特別委員会

議会だよりをリニューアルしました

議会だよりモニターの方々からいただいた意見等を踏まえ、今号から左綴じに変更し、併せて横書きとしました。

横書きにすることにより、金額などの数字やアルファベットを使う言葉などが読みやすくなるのではないかと思います。これからも皆さんに読んでいただける議会だよりとなるよう、研究していきたいと思っております。

♪ 第3回議場コンサートを開催しました ♪

議会定例会初日の11月28日(木)、第3回議場コンサートが開催されました。

水を打ったように静寂なる議場に、白きタクトが振り下ろされると男性12名、女性24名の「みんなで歌えば」の澄み渡る歌声が議場を感動の渦へといざなっていました。

「浜辺の歌」「花の街」「ひといきつきながら」を歌い上げ、いよいよ後半へと入っていきます。

南相馬市立小高(おだか)中学校平成24年度卒業生が綴った詞「群青」、2011年3月11日、街を襲った津波は、学校を飲み込み、仲間をも飲み込んでいった。多くの生徒が故郷小高から離れて散り散りとなった。合唱団の歌声はそんな彼らを、励まし、慈しむかのように響き渡る。

「ああ あの町で生まれ 君と出会い たくさんの思い抱いて 一緒にときを過ごしたね・・・」

今、あの青年たちはどこで何をしているのだろう。そんな思いが、私たちの胸を揺さぶり続けた。

「きっとまた会おう あの町で会おう 僕らの約束は 消えはしない 群青の絆」

こらえきれない思いが涙となり頬を伝う。幸せでいてほしい。

議場にいた全員が同じ思いだったに違いありません。

そして懐かしい「いつでも夢を」を一緒に口ずさみ、クライマックスは「下野市歌」を全員で大合唱しました。議場に集ったすべての方々が一體となり、明るく希望に満ちた下野市を作っていくぞ、という熱い気持ちになりました。

下野混声合唱団の皆様、そして、素晴らしいピアノ伴奏と指揮者の先生に心より感謝申し上げます。

(石川信夫)



国民健康保険税に関する勉強会



12月6日(金)、市税務課職員を講師として、国民健康保険税の知識を深めるための勉強会を開催しました。市民の皆様との意見交換会において、質問を受けた際に答えに窮することがあり、必要性を感じての開催となりました。

勉強会では、譲渡所得等があった場合の所得割の計算方法やその根拠法令、3つの区分(医療保険分・後期高齢者支援金分・介護納付金)のそれぞれの税額の算出方法などを学びました。

質疑応答では、滞納者の方々への延滞金の利率や督促に関する質問など、終始活発な勉強会となりました。

都市計画に関する勉強会



11月13日(水)、栃木県県土整備部都市計画課職員を講師として招き、「とちぎの都市づくり」と題して勉強会を開催しました。

講師からは、人口減少や空き家問題等の現状と課題を踏まえ、都市づくりの方向性についての話がありました。下野市について、「JR駅を3駅有しており、ポテンシャルの高い地域である」、「鉄道駅を核とした集約型のまちづくりは有効であると考えている」との話もありました。

議員からは、市の土地利用に関する質問が多く挙がり、活発な質疑が行われました。今後、市としてどのような土地利用を進めていくのか、議会としても検討していきたいと思えます。

(1) 大野市(福井県) 10月1日

大野市は古くから豊富な地下水に恵まれ、水が市民生活に深く関わり独自の水文化が醸成されていました。

昭和50年代の井戸涸れ・湧水涸渇の危機に直面したことから、条例制定、調査、地下水取水制限、地下水位観測と監視、地下水涵養と体系的に、市を挙げての地下水保全活動に取り組んできました。その結果、近年は地下水位の低下に伴う警報は発令されていません。また、子ども達への水循環教育をはじめ、人口減少対策、国際貢献活動にまで発展させている様子には感嘆しました。



行政視察のようす

大野市も本市も地下水の恩恵を受けておりますが、大野市全体の水に対する思いは一段と強いと言えます。貴重な資源である地下水を持続的に利用するため、大野市のようにリスクについて市民が納得できるようなデータの提示や情報の共有をしていくことが今後必要であると思われまます。

(2) 豊橋市(愛知県) 10月2日

豊橋市では、平成16年に豊橋市都市交通ビジョンを策定するなど、早期から交通政策に取り組んできました。掲げた目標の達成状況を計るため、分かりやすく定量的な評価指標・指標値とし、定期的に結果を収集しやすくして計画の見直しに活かそうとしていることは参考にすべきです。また、市民の「生活」の質の向上と「交流」の促進を図る都市交通体系を目指していることから、まさに「誰一人取り残さない」SDGsに則したまちづくり交通計画であると感じました。特に、自転車や公共交通を中心としたライフスタイルへの転換を明確に位置付けていることには驚きました。

「多様な交通手段を誰もが使え、過度に自家用車に頼ることがなく」は本市のマスタープランにも取り入れたいフレーズでした。

下野市特産かんぴょうに関する意見交換会

12月13日に市議会主催により「下野市特産かんぴょうに関する意見交換会」を開催しました。

出席者は、栃木県干瓢商業協同組合常務理事、石橋干瓢協同組合会長、JAうつのみや、JAおやまの下野市内の生産者団体代表及び担当者、下野市議会議員、下野市産業振興部農政課職員です。

下野市特産かんぴょうに関する政策提言を行うにあたり、

- (1) 関係者それぞれの役割を明確にする。
- (2) 市が推進する施策の基本方針を示す。
- (3) 関係者が連携するための場面づくりに協力する。

として、生産量全国1位である本市特産のかんぴょうの生産及び消費拡大について意見交換を行いました。



国産品の品不足のため、流通関係者からの増産要望があり、生産者からはかんぴょうむき機の生産及び省力化できる機械の要望や、学校給食地元農産物供給促進事業として、かんぴょうの使用に対して補助金を増額し、子どもたちにかんぴょうの味を覚えてもらいたいという意見がありました。また、市内の飲食店での提供や市内各種イベントなどでの提供、かんぴょう汁のインスタント食品の開発、産学連携など活発な意見交換を行いました。

「FMゆうがお」が開局！ 周波数は 87.9MHz

12月20日（金）コミュニティFM「FMゆうがお」の開局式が行われました。

放送時間は毎日24時間、うち午前7時から午後9時までが生放送です。地域の話やイベント情報、子育てや暮らしの情報など、地域に密着した情報を発信しています。また、災害時には災害情報等の発信も行います。ぜひ、お聴きください。

※ラジオをお持ちでなくても、スマートフォン用アプリ「FM++(ぷらぷら)」でいつでも・どこでもラジオ放送を聴くことができます。



地域公共交通に関する要望書を市長へ提出

議会では、総務常任委員会を中心に地域公共交通のあり方について先進事例を含め調査研究を行ってきました。

下野市地域公共交通総合連携計画が令和2年度で終了を迎えることから、次期計画の策定にあたり、地域公共交通に関して議会内での議論を踏まえ、要望書として提出しました。

【要点】

1. デマンドバスの更なる充実を求める
2. 定期路線型コミュニティバスの導入検討
3. 運行に際しては、市内業者育成にも配慮されたい



秋山議長、石田副議長が広瀬市長に要望書を提出しました

第1回 定例会 (3月議会) の予定

※会議の予定は変更になることがあります。

※日程が決定次第、市ホームページでお知らせいたします。

日	月	火	水	木	金	土
2月9日	10	11 建国記念の日	12	13 議会運営委員会	14 議会だより編集委員会	15
16	17	18	19	20 本会議(開会)	21 本会議	22
23 天皇誕生日	24 振替休日	25 本会議 (一般質問)	26 本会議 (一般質問)	27	28 常任委員会	29
3月1日	2	3	4	5	6 常任委員会	7
8	9	10	11	12	13 本会議(閉会) 議会だより編集委員会	14

編集後記

今回の議会だよりから、紙面のレイアウトを縦から横書きへと構成を変えさせていただき、右綴じから左綴じへと市の広報紙と同じにしました。市民の皆さまに読みやすい紙面へとリニューアルしました。

昨年12月20日にコミュニティFMゆうがおが開局し、議会としても広報活動の一環として、今後活用するための話し合いを進めていきます。

2019年の日本人の出生数が、推計より2年早く初めて90万人割れと過去最少となり、今後議会としても、より一層、少子化対策、子育て支援の充実を図っていかねばならないと強く思いました。

「庚子(かのえね)」年が、市民の皆さまにとって良い年となるように願っています。

(大島昌弘)

※次号(No56)は5月15日に発行します

今号の題字：国分寺東小学校 6年 渡邊 真央さん

議会だより 編集委員会

委員長 中村節子
副委員長 大島昌弘
委員 坂村哲也
五戸豊弘
石川信夫
相澤康男

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約15.2円です。

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて下野市議会だよりの音訳CDを貸し出しています。電話：0285(43)1236